

文部科学省

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム 平成22年 6月14日 (第19号)
「教員養成コンソーシアム四国」情報

コンソーシアム

徳島文理大学
「教員養成コンソーシアム四国」事務局

第3回「平賀源内先生こども科学教室」に参加をしました

6月12日(土)に、徳島文理大学香川キャンパスで第3回「平賀源内先生こども科学教室」が開催され、**徳島文理大学7名、四国学院大学2名の教員をめぐす学生の皆さんが参加をして、子どもたちのサポートをしました。**

今回のテーマは、「わたあめを作る機械を作ってみよう」です。徳島文理大学理工学部の水野貴之先生と理工学部の学生の皆さんのご指導で活動が開始されました。

はじめに、わたあめの材料のザラメ糖を溶かすためのアルコールランプの取り扱いについて先生から細かなご指導をいただきました。続いて先生の説明を聞いて、材料を溶かす容器を回転させるモーターとスイッチを作りました。材料のザラメ糖を溶かす容器はジュースなどの空き缶です。空き缶の下の方の周りにザラメ糖が溶けてわたあめが出る小さな穴をあけます。最後にモーターと空き缶をつなぐと、わたあめを作る機械は完成です。モーターと空き缶をつなぐ作業が難しく、ボランティアの学生の皆さんがグループを回ってサポートをしていました。



次に、空き缶がスムーズに回転するように調整をしたら、いよいよこの機械を使ってわたあめ作りに挑戦です。まず、空き缶の中に材料のザラメを入れます。内側にアルミ箔を張ったバケツの中に、アルコールランプを置いて火をつけ空き缶を温めます。ザラメ糖が溶ける甘いにおいがしてきたら、モーターのスイッチを入れて空き缶を回転させます。空き缶の周りから糸のようなわたあめが出てくると、割り箸に巻き取ってわたあめのできあがりです。保護者の方やボランティアの学生の皆さんのサポートを得て、全員がわたあめを作ることができました。



今回のテーマも、参加した子どもたちにとってたいへんに興味深いもので、みんな一生懸命に取り組んでいました。ボランティアで参加した学生の皆さんも、子どもたちにしっかりと関わることができたと思います。

来年度から実施される**小学校の学習指導要領**では、**理科の授業数が増加し、内容も充実**されます。教員をめぐす学生の皆さんも、「平賀源内先生こども科学教室」などの**理科支援のボランティアや研修会などに積極的に参加**をして、**理科の授業や実験を指導する実践力**を身につけていってほしいと思います。



徳島文理大学「教員養成コンソーシアム四国」事務局

TEL 088-602-8048

E-mail kyouin-consortium@tks.bunri-u.ac.jp

E-mail consortium@tks.bunri-u.ac.jp